

令和6年度 第1回みどり市総合計画審議会 議事録

■ 開催日時・場所

日時 / 令和6年9月30日(月) 10時00分から11時45分まで

場所 / みどり市役所笠懸庁舎 第2会議室

■ 出席者

みどり市総合計画審議会

	役職	所属	役職	氏名	出欠
1	会長	学校法人桐丘学園 桐生大学	医療保健学部 教授	境原 三津夫	出席
2	委員	みどり市都市計画審議会	副会長	津久井 晴美	出席
3	委員	みどり市環境審議会	副会長	中澤 秀夫	出席
4	委員	みどり市男女共同参画審議会	会長	島田 美樹子	出席
5	副会長	みどり市区長会	会長	永屋 元之	出席
6	委員	みどり市消防団	団長	鏑木 勉	出席
7	委員	みどり市防犯委員会	会長	金子 祐次郎	出席
8	委員	一般社団法人桐生市医師会	理事	東郷 望	欠席
9	委員	みどり市社会福祉協議会	会長	石田 義彦	欠席
10	委員	みどり市民生委員児童委員協議会	会長	森田 峯治	欠席
11	委員	みどり市老人クラブ連合会	会長	田村 幸男	出席
12	委員	みどり市ボランティア連絡協議会	会計	渡邊 清	出席
13	委員	みどり市勤労者協議会	会長	伊藤 正雄	欠席
14	委員	みどり市女性会	会長	小林 美枝	出席
15	委員	みどり市笠懸町婦人会	会長	曲澤 節	出席
16	委員	みどり市PTA連合会	書記	石田 義則	出席
17	委員	みどり市子ども会育成会連絡協議会	会長	小倉 秀明	出席
18	委員	みどり市文化協会連合会	会長	高山 千恵子	欠席
19	委員	みどり市スポーツ協会	副会長	貝之瀬 さとみ	出席
20	委員	新田みどり農業協同組合	副組合長	岩崎 康博	出席
21	委員	みどり市商工会	会長	木村 茂光	出席
22	委員	笠懸町商工会	副会長	高橋 正哲	欠席
23	委員	みどり市観光協会	代表理事	松嶋 一郎	出席
24	委員	桐生広域森林組合	代表理事組合長	村上 利朗	出席
25	委員	わたらせ森林組合	代表理事組合長	木村 光一	出席

事務局

	所属、役職	氏名
1	政策企画部 部長	深沢 隆之
2	政策企画部企画課 課長	青木 照幸
3	政策企画部企画課 課長補佐	松井 利光
4	政策企画部企画課政策調整係 係長	小倉 敦史
5	政策企画部企画課政策調整係 主任	津布久 ひかる

■ 会議要旨

1 開会（司会：企画課長）

2 委嘱状交付

市長より交付

3 市長挨拶

大変ご多用の中、第1回みどり市総合計画審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、常日頃からそれぞれの地域、団体からの貴重なご意見等々をお聞かせいただき、市政各般にわたりましてご理解ご協力、ご支援をいただいておりますことに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

ただいま委嘱状の交付をさせていただきましたけれども、みどり市の総合計画というのは、みどり市の最上位計画であります。市が一体どういう方向を目指して市政運営をしていくのかということで、基本計画の中で、5年間の前期計画、残りの5年間を後期計画として策定しました。

今回のこの審議会においては、後期計画が令和5年度からスタートして、1年経ったところでありまして、計画の進捗状況等々を、それぞれのお立場から、貴重なご意見をいただければと思っております。

これまでは計画内容の諮問をし、答申をもらった段階で、この審議会というのは開催をされておりました。答申をした後のPDCAが計画通り進んでいるのかどうかをチェックしていただくのも、審議会の委員の皆さん方の重要な役割だと思っております。

例えばコロナなど想定をしてないような出来事や時代の変化がある中で、見直すところはしっかり見直し、方向性を改めるところは改める姿勢で進めていきたいと思っております。

住んでる人が引き続き住み続けたいまち、そして定住を考えてる方々がみどり市に住んでみたいと思う、そんな市を目指して進んで参りたいと思っておりますので、引き続きのご理解ご協力、ご支援をお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

4 自己紹介

出席委員・事務局による自己紹介

5 会長・副会長の選出

- ・会長：学校法人桐丘学園桐生大学 医療保健学部教授 境原 三津夫 様
- ・副会長：みどり市区長会会長 永屋 元之 様
(境原会長)

みどり市総合計画に基づきまちづくりが進められているところでございますけども、市民の目線で、一緒に意見交換を活発に交わして、少しでもよりよいみどり市のまちづくりに少しでも寄与し、尽くしたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(永屋副会長)

先ほど市長から、市の最上位計画ということ伺いました。大事な審議会となりますので、区長会としていろんな意見を吸い上げて、反映していけたらと思っております。ぜひよろしく願いいたします。

6 諮問

市長から境原会長へ諮問

7 議事 (司会：境原会長)

(1) 第2次みどり市総合計画後期基本計画の進捗状況について

●総合計画策定の概要

「みどり市総合計画」4～8 ページおよび資料1の4つの重点取組について説明。

以下、各重点取組について説明後、委員より意見聴取を行った。

なお、資料3の指標については現時点で公表されていないものも一部ある。

●重点取組①移住／定住 ⇒資料1 P5～7

(事務局)

令和5年度の取組状況および<課題と今後の方針>について説明

- ・令和5年度取組：関連施策 1-5 子育て支援の充実
 関連施策 2-2 教育の充実
 関連施策 5-3 住環境の向上
 関連施策 7-4 交流・移住の推進

(木村茂光委員)

移住定住、空き家対策の取組として、東京の方からの誘致は非常に良いと思いますが、市内の空き家、空き地などの市内外からの利活用については、商工や観光で連携していただき、商工会としても会員の皆さんにいろいろな情報を提供し、市の施策に協力させていただき、稼げる仕組みを作る

ことも定住の一つの方法と考えております。

空き家空き地対策に関しての工夫や連携について、商工会とも一緒に進めていただけると良いのかなという意見です。

(事務局)

ご意見にありますように、老舗の商店などが閉店するような状況もあり、空き店舗の活用等も重要になってきます。商工課とも連携をとり、街中を活性化させるための取り組みということで、空き店舗をリノベーションしたまちづくりを進めています。空いてる店舗をいかに活用して、地域活性化に結びつけるかといったところの取り組みを少しずつ進めているところです。

今ご意見いただいた視点を重要なものにとらえながら、取り組みを進めていきたいと思っております。

(境原会長)

地域おこし協力隊について、任期が終わった後、なるべく市内に居住して欲しいということで、定住に関わる経費補助とかを出すケースがありますが、地域で活動したそのあとの仕事がなく、定住することができないということが考えられますが、そのあたりはどうでしょうか。

(事務局)

みどり市においては定住率 80%であり、全国や県内から見ても、地域おこし協力隊の定住率は高い状況です。

自分で何がやりたいかを活動中の3年間で考えながら本人が努力しながら進めていき、そこに対して市もサポートをさせていただいておりますので、そういった取組が高い定着率に繋がっているかと思っております。

●重点取組②協働まちづくり ⇒資料1 P8～10

(事務局)

令和5年度取組状況および<課題と今後の方針>について説明

- ・令和5年度取組：関連施策 2-1 生涯学習の推進
- 関連施策 6-2 商工業の推進
- 関連施策 6-3 公民連携の観光まちづくり
- 関連施策 7-1 協働のまちづくりの推進

(松嶋委員)

県外から来る人は、街並みやながめ余興場などのレトロさがいいなと思ってもらえることが多いです。交流人口を増やすことで定住までつなげていけるような気がします。

公共交通も、2割ぐらいは観光の人に利用してもらい、さらに街を見てもらえると良い。これから来年、再来年に向け新規施設のオープンも交流人口増加につながるきっかけになると思っています。

一方で大間々の商店街や東、岩宿など、みどり市が元々持っている魅力を見捨てないで、皆さんに協力して盛り上げていただければと思います。観光協会の法人化により、今後、様々な取組ができますので、皆様にご協力をお願いしたいと思います。

(田村委員)

西鹿田グリーンパークや温泉施設建設の進捗状況をお知らせ願いたい。

(事務局)

現時点で令和8年度の完成を予定しています。

(田村委員)

桐生大学の移転について、賑わいが少なくなり寂しくなる感じがしますが、移転することについて分析はしているのでしょうか。

(境原会長・事務局)

移転は大学の理事会側の決定であり、みどり市の方だけでは決められることではないですが、多くの学生が電車で通学をしたり、周辺のアパートに住んでいる状況がありますので、残念なことではあると考えております。

ただ、すべての学部が移転してしまうのではなく、アートデザイン学科が残るということと、その後の広い部分の一部についてはスポーツの場として解放し、市民の人たちと交流ができるような形で、大学側の方は検討していただいているということでございますので、地域と大学が連携して交流できる新たな形のものを作りながら、にぎわいを創出できればと考えております。

(石田委員)

学校教育の観点からもご検討いただきたい点としましては、最近では部活動の地域移行というお話が出ていますが、ぜひ地域との協働という形で計画内に示すなどのご検討をいただければと思います。地域の方々のスポーツの充実などにも繋がる取組であると思います。

(事務局)

ご意見にありました部活動の地域移行も含めて、非常に重要なものと考えており、学校教育課の方で検討を進めているところになります。

今回の総合計画を策定している過程では、そのような動きがなかったため、計画内に明記はされておきませんが、教育の充実に向けた取り組みとして重要なものですので、今後、計画を更新していく際には明記されてくることになると思います。

●重点取組③5つのゼロ宣言 ⇒資料1 P11～13

令和5年度の取組状況および<課題と今後の方針>について説明

- ・令和5年度取組：関連施策 3-2 自然環境の保全
関連施策 3-4 防災・減災対策の推進
関連施策 6-1 農林業の振興

(島田委員)

防災減災の数字のところでは最近ではフェーズフリーっていう考え方もあって、日常と非常時をあまり区分けせず、普段から防災意識を取り入れるような商品や対策が広がってきてるかと思うので、そういった考えを市民の方々に広めていくとか、いざ非常時となった際にどのぐらいの水が使えるのかといったことを公表されると危機感を持って対策を意識するというのを研修会などで勉強してきたんですけど、市の余力を発信していくことも大切なのかなと思います。

(事務局)

日常と非日常の境目をなくす意識づけというのが非常に重要だと考えておまして、例えば企画課の事業で言いますと、公共交通というところで、電気バスを新たに導入した経過があります。電気バスは蓄電している電気が非常に大きいので、災害があったときにそのまま非常用電源として使えるというところもあります。また、公用車にも電気自動車を導入しておりますが、そうした緊急事態を意識した取組を市民の方に少しずつ認知していただければと思います。

また、先ほどご意見があったように、水がどのぐらいあるのかを公表することは、市民の方々の危機感をしっかり意識づけるために重要な取組だと思いますので、今後、そういった考え方を生かしていきたいと思います。

●重点取組④デジタル推進 ⇒資料1 P14～16

令和5年度の取組状況および<課題と今後の方針>について説明

- ・令和5年度取組：関連施策 8-3 行政のデジタル化
関連施策 2-2 教育の充実
関連施策 8-1 健全な行政運営

(木村茂光委員)

みどり市の地域通貨が始まりますが、市が異なるので難しいかと思いますが、桐生市でもみどり市でも両方で使える地域通貨があると良いと感じます。新里や黒保根の方も、大間々で買い物をしますし、逆にみどり市の方が桐生に行く場合もあります。当然、商店や飲食店の方からいろんな意見があるかと思いますが、トータルで考えれば、両方で使えるようなものにした方が、経済圏が一緒ですので、ご検討いただければありがたいなというふうに思います。よろしくお願いします。

(事務局)

現在、みどり市の地域通貨を11月から開始と予定しているところです。桐生市とみどり市のお互いの通貨に関しまして、桐生市とも調整をしながら進めていきたいと考えておりますが、どの段階で互いの通貨が使えるようになるかについては、現時点で申し上げることは難しい状況ですが、そのような仕組みも含めて検討をしていければと考えております。

(2) その他

- ・次回会議の日程：令和6年10月下旬～11月上旬
- ・内容：各政策（8政策）毎の取組状況について
- ・配布した「意見記入シート」について、もし次回の会議までに何かご意見があれば、任意で結構ですのでご意見をお願いいたします。